



TOP > 観光スポット > 商店街、ショッピング > 心に響く音色が特徴の楽器“二胡”の専門店「龍胡堂」

シェア

ツイート



## 心に響く音色が特徴の楽器“二胡”の専門店「龍胡堂」

2022.01.14 UP JR中央線沿線エリア 投稿者：まるっと中野編集部

[観光スポット] [商店街、ショッピング]



「中野サンモール商店街」にある二胡の専門店「龍胡堂」。

JR「中野駅」北口の前に広がる「中野サンモール商店街」の中に、中国の伝統楽器・二胡を専門的に取り扱う「龍胡堂」があります。お店は駅側入り口からアーケードに入って徒歩30秒ほどの場所にあり、1階にタバコ屋さんがある建物の2階です。階段前に看板があり、ポスターも貼ってあるので見つけやすいです。



お店のある2階へは、階段を上って行きます。

二胡の歴史は古く、1500年前に西方からシルクロードを經由して伝わったとされています。“東洋（中国）のヴァイオリン”とも言われ、2本の弦の間に弓を挟み演奏します。その音色は人間の音声に最も近いとされ、東洋的な奥深くなめらかな美しさで、世界中の人を魅了しています。

「龍胡堂」のオーナーを務める劉鉄鋼さんは幼い頃より二胡を演奏し、中国のハルビン師範大学に入学。大学卒業後、中国の伝統文化である二胡の魅力を変えたいと2003年に来日し、親族の住む日本の長野県諏訪市で二胡の教室などを営んできました。そして2018年に中野に東京店をオープン。劉さんは今も二胡演奏活動や作曲活動を行っており、日本二胡学会の理事も務めています。



二胡を弾く、オーナーの劉鉄鋼さん。10月にも国内の二胡コンサートに出演。



2本の弦の間を、馬のたてがみでつくられた弓を動かして演奏します。

お店では二胡の販売のほか、二胡のメンテナンスや修理、二胡の演奏を一から学ぶことができる二胡教室、さらには二胡の演奏会の企画・主催・依頼受付など、二胡に関するありとあらゆるサービスが展開されています。二胡のほかには、陶板画をはじめとする中国のインテリア雑貨も販売中です。



二胡のほかにも中国雑貨を取り扱う「龍胡堂」の店内。

お店で販売されている二胡は、初心者用のものから中国の職人が作りあげた至極の逸品までバリエーションが豊富。値段も約4万円～200万円までと、奥深い二胡の世界が値段からも伺えます。





胴部分はニシキヘビの皮が使われています。ニシキヘビの皮は丈夫で、音も響きやすいそうです。

二胡の値段は、木材や胴部分に使われているニシキヘビの皮といった二胡に使われている素材や作った職人によって変化するそうです。一般的に高い二胡ほど、音の響きが良いとのこと。



繊細な彫刻が施されたものや、紫檀や明清老紅木で作られたものなど、店内にはさまざまな二胡が。

2本の弦の間に弓を挟んで音を出すというシンプルな演奏方法のため、二胡は比較的演奏しやすい楽器とのこと。五線譜ではなく、ドレミの音階を数字の123で現す数字譜という楽譜の違いはありますが、どなたでも練習すれば弾けるようになるそうです。



お店の中だけでも高価な二胡が並ぶコーナー。いちばん右の二胡は200万円(税込)。

オーナーの劉さんに二胡の魅力を伺ったところ「深い音色で、哀愁的。心の深くまで届く音ですね」と教えていただきました。また、二胡は繊細な音が出るのも特徴とのことで、劉さんいわく「ドとド#のあいだにも音は存在しているんですが、ピアノの鍵盤上にその音はありません。でも、二胡であれば、その音が上手に出せるんです」と語ってくれました。

実際に聴かせていただきましたが、ビブラートが深く音の余韻を楽しめる楽器という印象を受けました。演奏法の近いギターやヴァイオリンと違い、二胡の弦は棹（ギターのネックにあたる部分）との距離があるため、弦を動かす範囲が広くビブラートを効果的に使えるようです。この奥深い音域が、二胡の哀愁的な音色の秘密なのかなと素人ながらに感じました。



4万円、6万5000円、8万8000円（すべて税込）と、初心者用の二胡のコーナー。

また、「龍胡堂」の特徴のひとつに、二胡演奏のための教室が併設されていることもあります。教室は中野店1箇所と長野県内の7箇所の計8箇所にあり、現在約280の方が学んでいるそうです。オーナーであり二胡奏者の劉さんをはじめ、本場中国で学んだプロの二胡奏者の方々が日本語で丁寧に一から教えてくれます。興味がある方は、お店へお問い合わせしてみてください。随時受付をしているそうです。



店内で二胡を実際に弾いて購入することも可能です。レッスン教室も行われています。

二胡は軽く、サイズも大きくないので持ち運びやすいのも特徴。音も柔らかいので、気軽に外でも弾きやすい楽器だそうです。ゆったりと座りながら演奏ができるので、幅広い世代の方におすすめ。“憧れの二胡を弾いてみたい！”や“人とは違う楽器に挑戦したい！”と思っている方は、ぜひ、龍胡堂で二胡デビューしてみたいはいかがでしょうか？





上海で買い付けている中国雑貨も販売中。

### 龍胡堂 東京店

所在地 中野区中野5-60-6

電話 03-5942-5058

営業時間 11:00～19:00

定休日 不定休

アクセス JR・東京メトロ「中野駅」より徒歩約1分

★公式サイトは[コチラ](#)



※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご直接お問い合わせすることはご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。